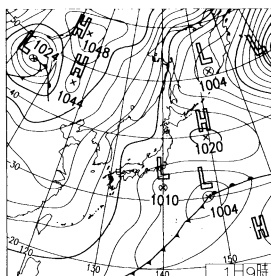


日々の天気図

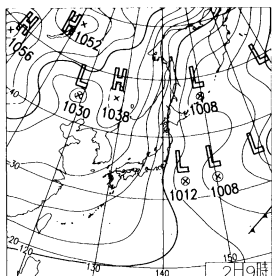
—No. 12

2003年1月

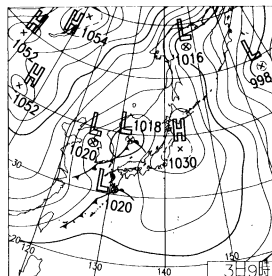
- ・4日～5日、北日本で低気圧発達。西日本も雪、北陸東北地方で大雪。
 - ・12日～14日、全国的に気温高く3月並み。知床半島で流水接岸。
 - ・23日～25日、低気圧が大発達。根室地方に暴風雪・波浪警報発表。
 - ・27日～30日、日本海低気圧が北海道付近で発達。全国的に大寒。
- (気象庁予報部予報課)



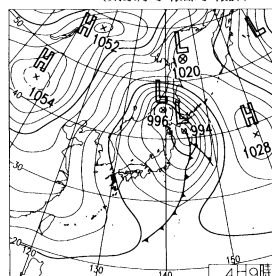
1日(水)関東で初日の出見えず
低気圧の影響で関東では雪や雨、他の地方では太平洋側を中心に晴れ。東京の元日の降雪は1959年以来、44年ぶり。奄美大島名瀬でヒカン桜開花。平年より17日早く最早。



2日(木)冬型の気圧配置強まる
北海道の上空約5200mに-40℃以下の寒気が入り、冬型の気圧配置が強まる。日本海側は雪で北陸・甲信地方で40cm前後の大雪。太平洋側は北西の風が強く、晴れて空気が乾燥。

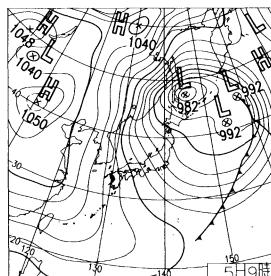


3日(金)東京で三が日連続の雪
日本海と南岸の低気圧の影響で西・東日本の広い範囲で雨や雪。東京は最低気温-0.6℃で今季初の冬。静岡と網代で初雪。静岡はウメ開花。平年より20日早く最早。



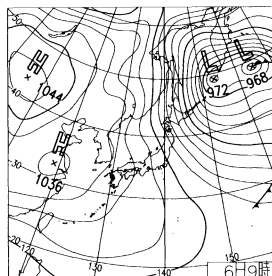
4日(土)路面凍結で事故も

低気圧が北日本で発達。冬型の気圧配置が強まる。八丈島で最大瞬間風速36.8m/s。前日の雪や雨が凍結し、鉄道遅延や自動車道での死亡事故発生。パリも大雪に見舞われる。



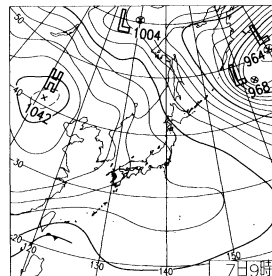
5日(日)長野・岐阜県でなだれ

低気圧更に発達。北～西日本に寒気が入り輪島上空約5200mで-40.5℃。日本海側は大雪と強風。海上は大しけ。北陸・東北で80cm前後の大雪。なだれも発生。西日本各地も積雪。



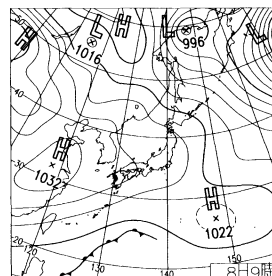
6日(月)寒気の内容は東海上へ

上空の寒気の内容は東海上に抜け、日本海側や山沿いの大雪も峠を越える。北日本は強い冬型の気圧配置で、北海道は吹雪が続く。三宅島定期航路2年4か月ぶり再開。



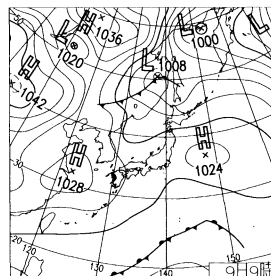
7日(火)「七草」日和

上空の寒気は弱まるが、気温はまだ低め。朝・日中とも全国的に平年より低い所が多い。十勝支庁陸別で-28.5℃を記録。



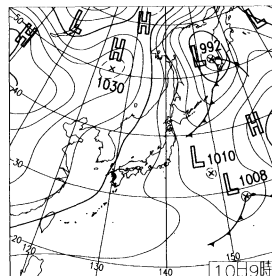
8日(水)知床半島に流水近づく

冬型の気圧配置は緩み、日本付近は大陸の高気圧に覆われ全国的に晴れたが、北陸より北では雪やみぞれの所も。宮崎・高知・館山でウメ開花。宮古島でツバキ開花。



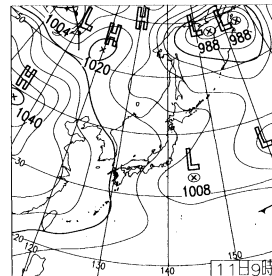
9日(木)穏やかな天気

移動性高気圧に覆われる。気温は内陸の一部を除いて高く、札幌では3月中旬～下旬並み。横浜でツバキ開花。平年より7日遅い。トルコで旅客機墜落75人死亡。濃霧が原因か。



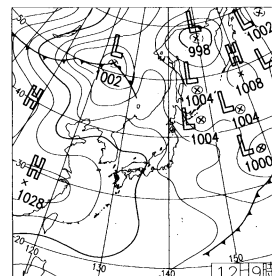
10日(金)西から雲が来る

関東～東北の太平洋側で晴れ。日本海側各地で雨か雪。沖縄では雨。西日本は気圧の谷が残り晴れ後曇り。東・北日本は気温が平年より2～3度高く3月並。



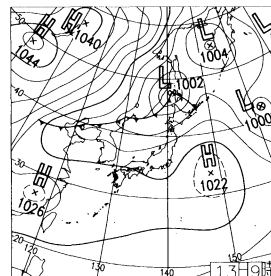
11日(土)網走で流水初日

日本海側の所々で雪や雨。気温は北海道と沖縄で平年より低め。その他は平年より高め。網走で今季初めて流水を観測。平年より9日早い。



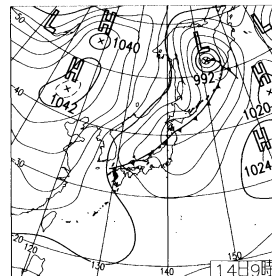
12日(日)晴天域広がる

北海道や東北の日本海側を除いて広い範囲で晴れ。日中の気温は2月上旬から3月中旬並みまで上がり、寒さは緩む。太平洋側の空気が乾燥状態続く。



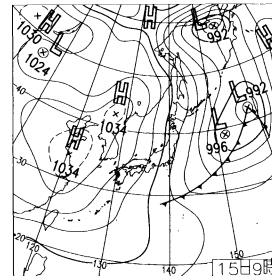
13日(月)暖かい成人の日

前線の影響で北日本の所々で雪や雨。他は高気圧に覆われ概ね晴れ。午後は西から次第に上層雲が広がる。最高気温は全国的に平年より2～7度高く。仙台の11.8℃は4月上旬並。



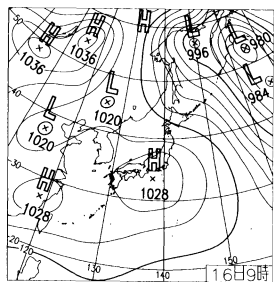
14日(火)日中ほかほか陽気

前線が日本海から南下。日中は南寄りの温かい風が吹き、全国的に気温が上昇。3月中・下旬並みになった所が多かった。宇和島・熊本・福江でウメ開花。知床半島で流水接岸。



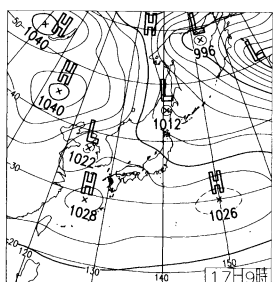
15日(水)風強く寒い一日

北日本から西日本まで寒気が入り、東北～中国地方の広い範囲で降雪。太平洋側は晴れるが日中は風が強く気温も低め。北海道朱鞠内で最低気温-33.5℃。雄武と紋別で流水初日。



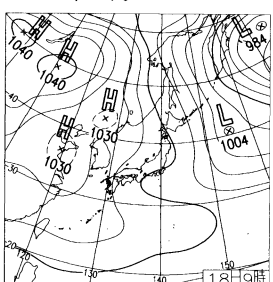
16日(木)放射冷却現象

移動性高気圧に覆われて晴れ、放射冷却現象により最低気温は全国的に平年を大きく下まわった。釧路は-21.0℃で平年より約10度低く、東京-0.8℃は平年より約3度低い。



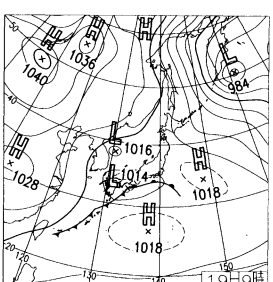
17日(金)諏訪湖結氷

北日本の一部を除き、本州南岸の高気圧に覆われて穏やかに晴れ、日中の気温も3月並みまで上昇。東京は13日連続して乾燥注意報、諏訪湖5年ぶりに結氷、御神渡り現象出現。



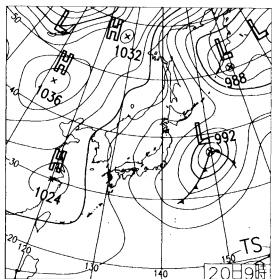
18日(土)台風第1号が発生

上空に寒気を伴った低気圧の影響で、四国や近畿の所々で雨。東日本では概ね晴れ。マリアナ諸島で台風第1号が発生。大学入試センター試験を過去最多の60万人が受験。



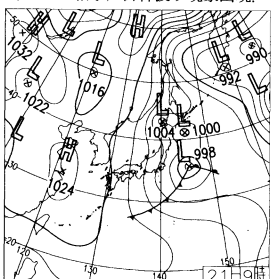
19日(日)低気圧が東進

日本の南を低気圧が東進。太平洋側を中心に雨、本州内陸部や北日本は雪で新千歳空港で欠航便も。朝は3月上・中旬並の暖かさ、日中は寒い。豪州の森林火災勢い衰えず。



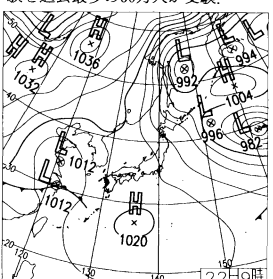
20日(月)低気圧が発達

日本の東海上で低気圧が発達、冬の気圧配置。日本海側で雨や雪、太平洋側では晴。静岡でクンボク平年より18日早い開花。横綱貴乃花引退。



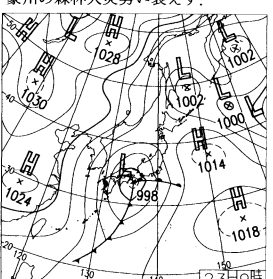
21日(火)那覇でヒカン桜開花

短い周期で低気圧が通過し、日本海側で雪、全国的に気温平年より低め。那覇ではヒカン桜開花、平年より2日遅い。三重県津と伊豆大島でウメ開花、平年より2週間前後早い。



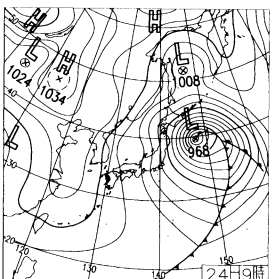
22日(水)東シナ海低気圧

北日本は冬の気圧配置で日本海側で雪。関東以西は移動性高気圧に覆われ概ね晴れたが、午後は曇り。メキシコでM7.8の地震、死者29人以上、負傷者300人以上。



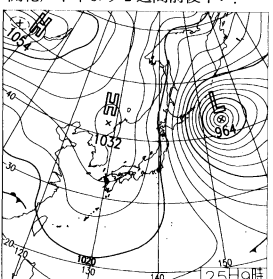
23日(木)低気圧が通過

前線を伴った低気圧が発達しながら南岸を東進、全国的に荒れ模様。東京は昼頃から雪が雨に変わるが、雪の積もった郊外で11人がけが、東北地方では交通機関が大きく乱れた。



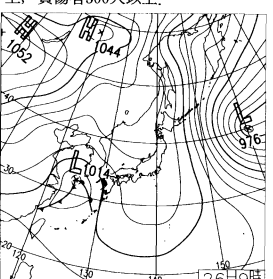
24日(金)低気圧が大発達

日本付近は冬の気圧配置が強まる。根室地方に暴風雪警報、三宅島で最大瞬間風速32.5 m/s。根室・釧路・岩手県・伊豆諸島南部に波浪警報。インフルエンザ全国で猛威。



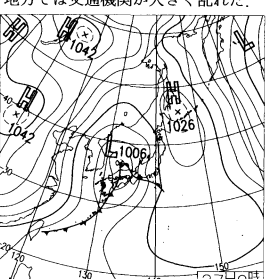
25日(土)大しけ続く

冬の気圧配置。北陸地方・北日本で大雪続く。福島県松枝岐村で24時間間に50 cmの降雪。根室地方に暴風雪・波浪警報継続。三陸沖～北海道東方海上で波高6 m以上の大しけ。



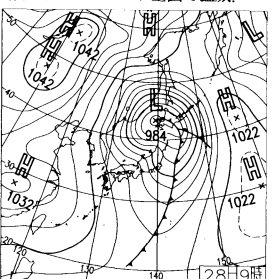
26日(日)西から天気崩れる

低気圧が近づき九州から雨が降り出す。最高気温は北日本と南西諸島で平年より高く、関東で低い。横浜でウメが開花、名瀬でヒカン桜が満開。



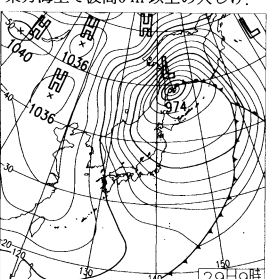
27日(月)日本海低気圧

低気圧が日本海を北東進。全国的に荒れた天気。降水量は紀伊半島で多く、和歌山県・三重県で150～180 mm。最大風速は三宅島坪田で南の風25 m/s。



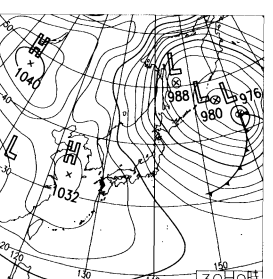
28日(火)低気圧が発達

低気圧は発達しながら北海道へ、北海道と本州の日本海側では大荒れの天気。暴風・暴風雪警報も発表。本州から九州の太平洋側は晴れ、関東は3月並みの暖かさ。



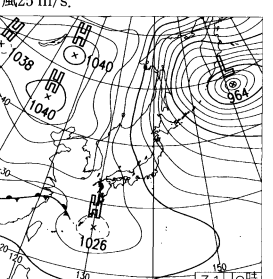
29日(水)各地で交通機関混乱

北日本上空5100 m付近に-40℃以下の寒気。大雪や強風。御前崎・石廊崎・宮崎・油津で初雪。関西方面で電力とガスの使用量記録更新。松江で最大風速20.1 m/sは1月の記録。



30日(木)日本付近は大しけ

冬の気圧配置で、日本列島周辺に筋状の雪雲広がる。北陸以北では大雪と強風3日目、大しけ続く。9時現在青森市酸ヶ湯で298 cmの積雪。太平洋側では一部で雪の他は晴れ。



31日(金)寒気は弱まる

北日本は冬の気圧配置が続くが本州付近の寒気は弱まる。関東以西の最低気温は平年より2度前後低い。東京は気温変化の大きい1月。